

教育委員会 成果報告

教育長 吉川 雄二

教育部長 林 俊宏

部局達成度

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
|  |  |  |  |  |
| — | 17 | 1 | 6 | 3 |

総括

学校規模の適正化では、森田小学校2校化に伴う通学区域について、通学区域審議会での答申を受けて決定しました。また美山地区において、令和6年度に福井市美山地区学校規模適正化協議会を設立し、適正化に向けた議論を進めることになりました。

新学校給食センターの整備については、令和6年1月末に建設工事が完了し、2月から3月にかけて開業準備を整え、令和6年4月から運営することになりました。

放課後児童クラブの整備では、旧治水記念館に旧至民中学校内の児童クラブを移転するため改修工事を行い、令和6年3月初旬から開所しました。

公民館施設の整備では、殿下公民館・殿下小中学校複合化改修実施設計について、地元や関係部署と協議を行いながら進め、設計を完了しました。

読書活動の推進では、「読書筆記」の作成、配布を行い、利用者から「読書意欲の向上につながっている」との意見があるなど、市民の読書活動の向上を図ることができました。

市立図書館リニューアル事業については、令和5年12月末に建物を完成し、令和6年5月から開館することになりました。

フットボールセンターについては、令和5年12月に工事が完了し、令和6年3月より供用を開始しました。

ふくい桜マラソン2024については、開催機運の醸成や各種準備を着実に進め、県内外から15,341人のエントリーがあり、大きなトラブルもなく3月31日の開催を成功裏に終えることができました。

これからも全国トップクラスの教育の更なる充実と福井の歴史、伝統、文化の磨き上げを目指し、目標達成のための取組を着実に進めていきます。

組織目標ごとの達成状況

I. 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います

学力充実のための教育活動では、授業や指導の改善に役立てるため、全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、成果と課題に基づいた授業や指導の改善点をリーフレットにまとめました。また、授業力向上と研究会充実のための指導主事による学校訪問においては、同じ中学校区にある小中学校に授業を公開し、小中学校が連携し研究内容の共有を図りました。

豊かな心の教育の推進では、多様な人々との関わりや自然とのふれあいなどの様々な経験を通して、豊かな心の醸成を図りました。小中学生国際交流作品展を開催し、国内外の姉妹友好都市の小中学生と芸術作品を交換し、異文化の芸術に触れることができました。

キャリア教育の充実では、全ての教育活動や地域、企業等との関わりを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力の育成を図りました。今年度はほとんどの中学校で職場体験を実施することができました。

多様な子どもたちへの支援の充実では、特別支援教育の推進に向けて、市全域連絡協議会を開催し、外部機関との連携や校内支援体制について研修及び協議を行い、教育と福祉、医療との連携を図りました。

学校規模の適正化では、令和8年4月の九頭竜中学校開校に向け、敷地造成工事の着工に続き、校舎等の建築工事に着手しました。また森田小学校2校化に伴う通学区域を決定しました。美山地区においては、令和6年度に福井市美山地区学校規模適正化協議会を設立し、適正化に向けた議論を進めることになりました。

今後も地域や家庭と連携しながら、児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行っていきます。

II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます

学校保健では、「目の健康カード」を活用し、視力低下を予防するための生活習慣の定着に努めました。また、中学校の体育主任に対して、「元気体操 21」の講習を行い、生徒へ普及することにより、体を動かす機会を増やすとともに体力向上につながるよう周知啓発に努めました。

学校安全では、各学校から通学路に係る報告を受け、道路管理者、警察等関係機関と危険箇所の合同点検や、危険ブロック塀のフォローアップ調査、また道路表示の設置や取締りを強化する等、通学路における安全対策の強化に努めました。

中学校の部活動では、「地域クラブ活動推進協議会」を設置し、部活動の在り方について検討を行いました。その中で、令和7年度末で休日部活動を廃止し、地域のスポーツ・文化芸術団体等が既に行っている活動に中学生が参加できるよう家庭・学校・地域との連携を図り取組を進めていく方針を決定しました。今後も、国、県の動向を踏まえ、モデル事業を通じた課題の整理や、解決方法の検討を継続して行っていきます。

学校給食では、地場産食材の活用や献立に郷土料理を取り入れることで、食への興味関心を育てるとともに、「ふくい」の食への愛着を図り、安心安全で楽しい学校給食の提供に努めました。また、新学校給食センターの工事完了に伴い運用開始に向け、着実に準備を進めました。加えて、単独調理校の給食室の空調整備を行い、食中毒予防と労働環境の改善に努めました。

III. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます

放課後児童クラブの整備では、旧治水記念館に旧至民中学校内の児童クラブを移転するため改修工事を行い、令和6年3月初旬から開所しました。児童クラブの利用希望者は年々増加しており、令和6年度受入れに向け、木田地区及び社南地区で児童クラブを新設、中藤島地区及び和田地区で施設の改修工事を行い、定員を拡大しました。また、高学年の受入を推進するため、低学年の早期お迎えによる割引を行い、空いた人数枠を利用して高学年を受け入れる事業を森田地区で初めて試行しました。さらに、発達障がいをもつ児童への対応などの専門知識を持つ学童保育巡回アドバイザーを各児童クラブに派遣し、職員の負担軽減を図りました。

家庭や地域の教育力の向上では、地域教育力活性化事業として、体験活動や講演会など、目標どおり全5ブロックで実施したほか、公民館の家庭教育事業として、親子で学べる場作りや親世代向けの子育て講座など、全ての公民館で実施することができました。

情報モラル教育の推進では、情報モラル講習会を全小中学校で実施することができました。ネットパトロールにおいては、自宅や個人が特定される恐れがあるものや誹謗中傷を行っている投稿について、当該生徒が在籍する学校へ情報提供しました。

青少年の健全育成の推進では、「家族ふれあい」絵手紙コンクールを開催し、コミュニケーションの大切さを呼びかけました。また、地域において青少年の健全育成に取り組んでいる「青少年育成福井市民会議」や「福井市補導員連絡協議会」とパネル展を協働開催するなど、より多くの人に親しんでもらえるよう工夫しました。さらに、青少年育成福井市民会議の各支部が取り組む活動（見守活動、危険箇所点検、大人と子どもの交流会等）について、パネル展の開催やホームページ掲載、市民会議だより配布により広く周知を図りました。

今後も、家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます。

IV. 安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます

特別教室への空調設備の整備については、令和3年度から5年度までの3か年で取り組んできましたが、物価高騰や社会情勢の急激な変化や需要変動による建設資機材の納期の遅延により、令和6年度の完了となります。本年度は、当初の計画に小学校14校、93室を計画していましたが、4校、24室の整備が完了しました。令和6年度には、残りの小学校22校、69教室の整備を行い、整備率は100%となる予定です。

また、国が示すバリアフリー化に関する整備目標に基づき、避難所に指定されている小中学校に車椅子利用者用トイレの整備を進め、今年度は、小学校30校の整備を完了しました。令和6年度には、小学校16校、中学校14校の整備を予定しており、すべての小中学校の整備を完了するよう進めます。

学校施設の予防保全対策では、小学校3校、中学校1校の改修工事を実施しました。来年度以降も、学習環境の安全性を維持するため、経年劣化等が進展する学校施設の計画的な維持・更新等に取り組んでいきます。

なお、木田小学校及び明倫中学校の大規模改修事業を令和6年度から令和9年度の4年間で進めていく予定です。

今後も、安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます。

V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます

公民館事業の推進では、公民館利用者数が、年度当初から新型コロナウイルス感染防止のための使用制限を行わなかったため、前年度に比べ増加しました。インターネットの活用については、スマホ講座やオンライン講座、動画配信などを行い、当日公民館に来ることができない人にも、講座等に参加する機会を提供することができました。

公民館施設の整備では、東郷公民館耐震補強・長寿命化改修工事については、概ね当初の予定どおり工事を進めることができ、年度内に完了することができました。殿下公民館・殿下小中学校複合化改修実施設計については、地元や関係部署と協議を行いながら進め完了しました。

市民憲章運動の推進では、事業内容や活動方法を工夫しながら、各支部において、地域の特性に応じた幅広いテーマで活動を実施し、普及啓発に努めました。実践目標の見直しについては、2,000点を超える応募作品から数回の審査による選定を行い、新たな目標を決定しました。令和6年度は市民憲章制定60周年にあたるため、記念事業や式典を行い、更なる市民憲章の普及啓発に取り組みます。

読書活動の推進では、司書の学校訪問や移動図書館車による巡回貸出などを実施したほか、学校司書等の研修や学校図書に関する助言を行うなど、全小学校と連携した活動に取り組みました。児童館や認定こども園との交流においても、施設訪問での読み聞かせや図書館見学の受け入れを積極的に行いました。各館の特色を生かした事業の実施については、各館の蔵書や立地、利用者層などの特色にあわせたイベント、講座、展示等を開催しました。さらに、「読書筆記」を作成、配布し、利用者から「読書意欲の向上につながっている」との意見があるなど、市民の読書活動の向上を図りました。

図書館サービスの拡充では、市立図書館リニューアル事業は、計画どおり12月末に建物を完成することができました。休館中も利用者サービスを維持するために、田原町ミニ図書館を継続開館するとともに、移動図書館車を活用した出前図書館に取り組みました。さらに、より多くの利用者のニーズを把握するために、アンケートの回答をスマートフォン等でもできるように改善しました。

今後も、市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章活動を進めていきます。

VI. スポーツ施設の整備や生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツライフの支援とスポーツを通じた交流拡大に取り組みます

体育施設の整備では、スポーツ環境の改善や電気料のコスト削減を図るため、北体育館アリーナ照明設備のLED化を行いました。また、フットボールセンターは、令和5年12月に工事が完了し、令和6年3月より、供用を開始しました。サッカー利用者を始めとする多数の市民に利用していただけるよう運営していきます。

スポーツを楽しむ環境づくりでは、スポーツ教室について、若い世代が興味を持って参加していただけるよう、一部コンテンツを変更して開催しました。また、昨年同様、ノルディックウォーキング教室や自宅等でもできる健康体操教室の動画を配信し、目標を達成することが出来ました。

ふくい桜マラソンは、実行委員会を中心に開催機運の醸成や各種準備を着実に進め、県内外から15,341人（フルマラソンは13,246人）のエントリーがあり、第1回「ふくい桜マラソン2024」を3月31日に開催したところ、大きなトラブルもなく成功裏に終えることができました。

第2期福井市スポーツ推進計画については、「スポーツの力で創る！元気で明るく楽しい！まちふくい」～まちも人もにぎわいと活力にみちた 夢と希望があふれるまちづくり～を基本理念に、年度内に計画通り策定しました。

今後も、市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ振興に努めていきます。

VII. 歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用します

文化財の保存・継承では、文化財の所有者や保存団体が行う建造物や天然記念物の修理および無形民俗文化財の後継者育成等の取組に対して支援を行いました。

市指定文化財の保存状態調査では、20件の調査を行い目標を達成することができました。

今後も文化財の所有者や保存団体及び市民と連携して、指定文化財や未指定文化財の適切な保存と継承に努めます。

地域と連携した文化財の活用では、城山(南居城山)の保存・整備において、地元市民団体による整備が活発に進み、地元住民と協働して行った発掘調査の成果を基に、解説板の設置を行いました。

また、地域連携の取組として、遺跡への理解を深めていただくため、各地区において埋蔵文化財の講座を実施したりイベントに参加したりするなど、遺跡をより身近に感じていただくための活動を行いました。

今後は、城山での連携事業をモデルケースとして、文化財が地域の活性化に繋がるよう、他の地域とも連携し文化財の活用に取り組みます。

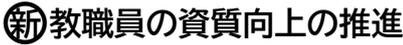
I. 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います

| | | | |
|--|--|---|---|
| 1 | 学力充実のための教育活動 |  | 達成度  |
| 実 行 内 容 | | | |
| 行動目標 | <p>生活や学習に必要な知識や技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成、学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力や人間性等の涵養を目指します。</p> <p>また、必要に応じてオンラインなども活用し多様な他者との対話・協働を充実させ、身につけた力を活用・発信できる児童生徒を育成する教育を進めます。</p> | | |
| | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査研究委員会の設置（全国学力・学習状況調査結果の分析） ○全国学力・学習状況調査結果の分析と公表、各学校へリーフレット送付 ○指導主事による全小中学校への学校訪問（年2回）及び授業公開（1回以上） ○教職員目的別研修（力量向上研修対象研修）の実施 | |
| 指 標 | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | |
| 授業を理解している子どもの割合： 小学校：「よくわかる」「おおむねわかる」と回答した児童 93.5%以上 中学校：「よくわかる」「おおむねわかる」と回答した生徒 87.5%以上 | | 授業を理解している子どもの割合： 小学校：「よくわかる」「おおむねわかる」と回答した児童 93.3% 中学校：「よくわかる」「おおむねわかる」と回答した生徒 87.6% | |
| 成果・課題 | <p>「授業がよくわかる」という調査項目に対して「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した子どもの割合は小学校で93.3%、中学校で87.6%でした。計画に対して小学校では目標値に0.2%、到達できませんでしたが、昨年度より0.7%増加し、高い割合の児童生徒が「授業がよくわかる」と肯定的に捉えていました。また、中学校では0.1%、目標値を上回り、昨年度より1.1%増加しました。</p> | | |
| | <p>授業や指導の改善に役立てるため、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析を行いました。成果と課題に基づいた授業や指導の改善点をリーフレットにまとめ、9月下旬に全小中学校に送付しました。</p> <p>全小中学校において、指導主事による学校訪問を年2回行い、授業力向上と研究会の充実を図りました。また、学校訪問日には、すべての小中学校において同じ中学校区にある学校に授業を公開するようにし、小中学校が連携して、研究内容の共有を図りました。</p> <p>さらには、教員の資質向上のため、県に委託している法定研修のほかに、市独自に福井市教職員目的別研修を昨年度より3講座増やして31講座開催し、延べ722名の教職員が受講しました。</p> <p>今後も、全国学力・学習状況調査の分析を活用し、教員の授業力の向上を図りながら、子ども達の生きる力を育む授業づくりに努めていきます。</p> | | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 3 | キャリア教育の充実 |  | 達成度  |
| 実行内容 | | | |
| 行動目標 | 子どもたちが夢や希望をもって、地域や社会に貢献できる人材になるために、全ての教育活動や地域、企業等との関わりを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力の育成を図ります。 | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○福井市キャリア教育プログラムを小中学校合わせて 375 学級で実施 ○キャリア教育連絡協議会の開催（5月22日、9月13日、12月18日、3月11日） <ul style="list-style-type: none"> ・各種経済団体と役所担当課との情報共有 ・プログラムの検討 ・プログラムの実施の流れの見直し ○中学校におけるキャリア教育年間指導計画のサポート ○福井市キャリア教育プログラムの周知 | | |
| 指 標 | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | |
| ⑤7 将来の夢や目標をもっている児童の 割合（小学校）：84.9%（4年度） →90%（5年度） | ⑤7 将来の夢や目標をもっている児童の 割合（小学校）：82.5% | | |
| ⑤8 将来の夢や目標をもっている生徒の 割合（中学校）：72.8%（4年度） →77%（5年度） | ⑤8 将来の夢や目標をもっている生徒の 割合（中学校）：66.8% | | |
| 成果・課題 | <p>今年度の福井市キャリア教育プログラムについては、新規プログラムを5つ増やし実施しました。福井市キャリア教育連絡協議会において、キャリア教育コーディネーターと協力して、既存のプログラム内容を見直したり、実施上の課題等について改善したりしました。キャリア教育プログラムの実施学級数は昨年度の359学級から16学級増加し、375学級で実施しました。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、今年度はほとんどの中学校で職場体験を実施することができました。キャリア教育に力を入れている学校が増えており、それに伴い、キャリア教育プログラムへ希望申込みも増えています。</p> <p>来年度も企業・団体よりキャリア教育プログラムへのエントリーがあり、新規プログラムを追加する予定です。加えて、小中学校へのキャリア教育プログラムの周知にも力を入れていきます。これにより、学校と地域、企業と連携したキャリア教育のさらなる充実を目指します。</p> | | |

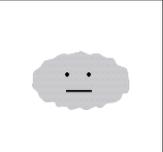
| | | | | |
|---|--|--|-----|--|
| 4 | 多様な子どもたちへの支援の充実 | | 達成度 | |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>特別支援教育を推進するとともに、不登校やいじめなどの問題の解消、必要に応じてオンラインを活用した多様な子どもたちへの支援など、子どもたちや保護者が抱える様々な問題に対応するための支援体制の充実を図ります。</p> | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○学校不適応対策推進会議の実施（8月、1月、3月） ○学校不適応児童生徒の教育相談等、支援充実のため県の事業と連携したスクールカウンセラーの小中学校への配置 ○チャレンジ教室における親の会（11月）、保護者懇談会（9月）、保護者面談（11月、2月）、オープン教室（6月、11月）の実施 ○生徒指導主事連絡協議会で、いじめ防止基本方針の見直しについて依頼（11月、2月） ○いじめに関する調査の実施・分析（毎月） ○特別支援教育専門委員会の開催（4月20日、8月23日、2月22日） ○特別支援教育コーディネーターを全小中学校に配置 ○小中学校の特別支援教育コーディネーター対象に市全域連絡協議会の開催（4月20日、10月26日、1月25日） ○教育支援委員会の開催（4月、5月、7月、8月、9月、12月、2月） ○令和6年度就学児相談会（7月25日、26日中藤小学校にて開催） ○既就学相談については、随時個別相談を実施 | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計画 | | 結果・成果 | | |
| <p>気になる児童生徒に十分な支援を行っていると感じた学校の割合：小中学校とも 98%以上</p> | | <p>気になる児童生徒に十分な支援を行っていると感じた学校の割合：小学校 99.2% 中学校 96.1%</p> | | |
| 成果・課題 | <p>スクールカウンセラーを県の事業と連携して小中学校に配置し、相談活動を実施できました。</p> <p>学校不適応対策推進会議において、不登校の児童生徒の現状、ライフパートナー活動、チャレンジ教室での活動について報告・協議を行いました。今年度は、チャレンジ教室の望ましい在り方の確認と、昨年度整ったWi-Fi環境を活用した取組の実践に取り組みました。</p> <p>また、6月と11月に1週間のオープン教室を実施しました。特に11月の保護者相談・来室数は、37件と、他の月の2倍以上でした。</p> <p>「いじめ防止基本方針」の見直しについて、全小中学校で行われました。また、生徒指導主事連絡会で、来年度に向けて、いじめ防止基本方針の具体的展開に向けた見直しと共有を依頼しました。特に外部機関との連携について依頼しました。</p> <p>いじめに関する調査の実施・分析については、毎月各学校で起きたいじめの対応等の調査を行い、きめ細かな対応につなげました。</p> <p>特別支援教育の推進に向けて、市全域連絡協議会（特別支援教育コーディネーター等地区別連絡協議会）を開催し、外部機関との連携や校内支援体制について研修及び協議を行い、教育と福祉、医療との連携を図りました。また、園小中の円滑な移行支援を図りました。</p> <p>就学相談について、市教育支援委員会において、令和6年度就学予定児、令和5年度既就学児童生徒の学びの場について検討し、保護者とも合意形成のもと対象者全員の学びの場の決定につなげることができました。</p> | | | |

| | | | | |
|--|--|--|-----|---|
| 5 | ICTを活用した教育の推進 DX |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>1人1台の端末を効果的に活用し、子どもたちの能力を最大限に引き出すとともに、ICTを利用した学習やプログラミング教育を通し、子どもたちがロボットやAIを活用する新しい社会(Society5.0)で活躍できる力を育成します。</p> <p>整備した端末やネットワーク環境を有効に活用し、児童生徒が新しい時代に求められる資質・能力を身に付けられるように学校における効果的な活用に向けての研究を進めていきます。そのために、教職員の研修や学校訪問での授業研究をさらに充実させ、教職員の指導力向上を図ります。</p> <p>今後も端末の更新を進め、快適にICTを活用した学習ができる環境を整備します。</p> | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○市内4つの拠点校にGIGAスクールサポーターを配置し、要望に応じて学校に出向き、機器のトラブルに対応 ○学校での情報機器のトラブルに対応できるようにエスカレーションを一元化 ○プログラミング教育の実施に向けて、福井市教職員目的別研修で研修を実施 ○全小学校の5年生にプログラミング教育に関する授業を実施 ○プログラミング教育に関する授業で、タブレットを活用した授業を公開 ○指導主事訪問や教育ウィーク等の学校公開期間において、タブレット等のICTを用いた授業公開を小・中学校で実施 ○センターサーバーを専用クラウドに移行するとともに、学校からの回線を増強し、1人1台端末を快適に活用できる高速ネットワーク網を整備 ○教職員用のタブレットを整備 ○中学校の無線アクセスポイントを増設 | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | | |
| <p>学習活動でのICT機器利用頻度を週3回以上と回答した教職員の割合 : 70%以上</p> <p>小学校5年生でプログラミングの授業をした学級数 : 全学級</p> | | <p>学習活動でのICT機器利用頻度を週3回以上と回答した教職員の割合 : 90.5%</p> <p>小学校5年生でプログラミングの授業をした学級数 : 全学級</p> | | |
| 成果・課題 | <p>GIGAスクール構想によるタブレット端末を学校教育活動に活用できるように、クラウドの整備や改善の増強、アプリケーションの導入、フィルタリングの管理を行ってきました。機器利用頻度の割合としては90.5%と目標を達成できました。今後も、アプリケーションや端末の便利な使い方を研修等で周知し、活用頻度を高めていきます。</p> <p>現場で起こるトラブルに関しては、市内4か所の拠点校に配備したGIGAスクールサポーターが、学校に駆けつけて対応したり、使い方を指導したりするなど、サポート体制を充実しております。</p> <p>また、集合型の研修をはじめ、校内研修に指導主事が参加するなど研修を充実させました。学校での端末活用が広まり、指導主事訪問等で全ての学校でタブレットを使った授業公開も行われました。</p> <p>さらに、小学校のプログラミング教育の充実に向け、子どもたちを指導する小学校の教員に加え、アシスタントとして授業に入る福井大学の学生に対しても計画的に研修を実施しました。その結果、プログラミングの授業は、教育委員会の配布したカリキュラムをもとに、総合的な学習の時間に全ての小学5年生に行いました。その中で、全小学校がタブレットを活用した授業を公開しました。</p> | | | |

| | | | | |
|--|--|---|-----|---|
| 6 |  |  | 達成度 |  |
| 実 行 内 容 | | | | |
| 行動目標 | <p>学校教育に携わる教職員の資質向上を目指して、教職員研修の充実を図ります。</p> | | | |
| 取組内容 | <p>○福井市小中学校教職員対象の「福井市教職員目的別研修」を31講座開催。延べ受講者数（722人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の他施設や課の協力を得て、講座を開催 市桜木図書館 市みどり図書館 市美術館 市自然史博物館 セーレンプラネット 文化振興課 女性活躍推進課 子ども福祉課 おもてなし観光課 環境政策課 福井市ALT 福井市栄養教諭 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 県ラグビーフットボール協会 福井市社会福祉協議会 県立盲学校 日本赤十字社 JICA 福井地方検察庁 等 <p>○各校務担当者（校長、教頭、教務主任）を対象とした「福井市教職員校務別研修」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長研修・・・福井市校長会と連携（1回） ・教頭研修・・・福井市教頭会と連携（1回） ・教務主任研修・・・福井市小学校教育研究会学校運営部会と連携（1回） <p>○福井市教職員研修企画委員会(3回)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会との情報共有 ・実施要項の検討 ・研修回数、内容、方法等の見直し | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計画 | | 結果・成果 | | |
| <p>研修の事後アンケートで「たいへん有意義」と回答した教職員の割合：78%</p> | | <p>研修の事後アンケートで「たいへん有意義」と回答した教職員の割合：78.2%</p> | | |
| 成果・課題 | <p>福井市教職員研修企画委員会を開催し、目的別研修や校務別研修について校長・教頭の代表者から御意見をいただきました。いただいた意見を踏まえて研修の内容を設定し開催しました。また、研修内容については担当者を中心に、協力してもらう他機関や市の課との協議も行いました。</p> <p>受講者の事後アンケートで「たいへん有意義」と回答した教職員の割合は、目的別研修で78.0%、校務別研修で79.1%と、目標数値（78%）を上回ることができ、R4の数値（70%）からも上昇しました。また、「たいへん有意義」・「ある程度有意義」と回答した割合を合わせると、研修全体では受講者の98.8%（R4 95.4%）に達し、研修内容の充実が図られたと考えています。</p> <p>特に、湘南学園長住田昌治氏を講師として実施した校長研修では、前向きな学校運営につながる考え方や具体的方法の紹介を、大阪大学名誉教授小野田正利氏を講師として実施した教頭研修では、保護者対応で悩む先生方の思いに寄り添ったお話をしていただき、学びの多い研修になりました。</p> <p>第2回研修企画委員会において、アプリの有効活用に関する研修、気がかりな児童生徒への対応方法を学ぶ研修等を企画してほしいという意見をいただきました。来年度も、学校現場のニーズに合った研修を企画し、受講者が主体的に研修に参加できるよう努めていきます。</p> | | | |

| | | | |
|--|---|--|---|
| 7 | 学校規模の適正化 |  |  |
| 実行内容 | | | |
| 行動目標 | <p>福井市学校規模適正化検討委員会からの答申の提言を軸に、保護者や地域と協議を行い、合意形成を図りながら進めていきます。</p> <p>今年度は、北部地域における学校規模適正化を進めるため、九頭竜中学校の建築工事の着手に向け、引き続き実施設計に取り組むとともに、当該中学校の敷地造成工事及び生徒数が急増している森田中学校の校舎増築工事を行います。あわせて、森田小学校の2校化に伴う森田地区の小学校通学区域を決定します。</p> <p>また、殿下地区における通学手段等の検討を行うとともに、美山地区や臨海地域など、答申で提言を受けたその他の地区においても地元の意見をしっかりと聞いていきます。</p> | | |
| 取組内容 | <p>○北部地域（森田小学校2校化に伴う通学区域について） 保護者アンケートの実施、自治会との協議、通学区域審議会での審議</p> <p>○殿下地区 清水中学校へのスクールバス運行に向けての地域、保護者、関係する学校との協議</p> <p>○美山地区 自治会連合会、地区の各団体役員、学校、PTAへの現状説明、意見聴取及び学校再編案の例示</p> <p>○臨海地区 保護者の要望を受けて現状説明を実施</p> <p>◎北部地域学校規模適正化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜中学校 <ul style="list-style-type: none"> ①敷地造成整備 令和5年11月完了 ②敷地擁壁整備（北側） 令和6年3月完了 ③実施設計 令和6年1月完了 ④建築工事 令和6年3月着手 ・森田中学校 <ul style="list-style-type: none"> ①増築工事 令和5年3月着工、令和6年1月完了 | | |
| 指 標 | | | |
| 計 画 | | 結果・成果 | |
| 北部地域学校規模適正化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜中学校建築工事の着手：令和6年3月 ・森田中学校校舎増築工事の完了 ・森田地区小学校2校の通学区域決定 | | 北部地域学校規模適正化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜中学校建築工事の着手：令和6年3月 ・森田中学校校舎増築工事の完了 ・森田地区小学校2校の通学区域決定 | |
| 成果・課題 | <p>北部地域における学校規模適正化を進めるため、九頭竜中学校の敷地造成工事に着手しました。また、昨年度から取り組んできた建築工事に係る実施設計を完了したほか、学校校舎及び体育館の建築に関連する工事について、当初の計画どおり、令和6年3月に契約し、着手に向け準備を進めているところです。今後、建築工を進めると共に、グラウンド整備工事や外構工事等を順次発注し、令和8年4月の開校に向けて進めていきます。また、生徒数が急増している森田中学校の校舎増築工事を完了しました。森田小学校2校化に伴う通学区域について、通学区域審議会での答申を受けて決定しました。</p> <p>美山地区において、令和6年度に福井市美山地区学校規模適正化協議会を設立し、適正化に向けた議論を進めることになりました。今後の議論の中で、小学校の統合、小中一貫校の設置など適正化の方法を議論するとともに、統合する場合の通学手段など、個別の課題についても整理し対応を検討します。</p> <p>臨海地区においては、保護者の中に、現状の児童生徒数での教育環境を不安視する声が多く上がっていますが、議論の進め方に対し思いが強い地区もあることから、今後は保護者以外の関係者も含めて議論を進めるための環境づくりに努める必要があると考えます。</p> | | |

II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます

| | | | | | |
|----------------------------|---|--|--|------------|---|
| 8 | 児童生徒の体力の維持向上と健康の保持増進 |  3 すべての人に健康と福祉を |  4 質の高い教育をみんなに | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>子どもの体力低下と肥満防止のため、昨年度から取り組んでいる、始業前、業間を利用した運動を、引き続き実施するとともに、子どもたちが自ら楽しんで体を動かす機会を増やすよう啓発に取り組みます。</p> <p>視力については、本県は視力 1.0 未満の児童生徒の割合が、特に中学生で高く、引き続き、春の定期健診に加えて、秋に視力追加検診を実施します。また、「目の健康カード」を活用するとともに、新たに「目の健康を守る 3 か条」の周知に努め、視力低下防止の啓発を推進します。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○6月28日に中学校の体育主任を対象として、市の体操である「元気体操 21」の講習会を開催。</p> <p>○「元気体操 21」のパンフレットを全中学生に配布。</p> <p>○春の定期健康診断に加えて、秋に視力追加検診を各学校において実施。</p> <p>○全小中学校に「目の健康カード」を配布し、秋季休業や、10月10日の「目の愛護デー」、冬季休業の機会を捉えて、児童生徒が自ら「目の健康カード」を活用して日常生活の見直しを行い、視力低下防止に取り組むよう啓発を行った。</p> | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| 総 59 肥満傾向にある児童の割合 : 7.7%以下 | | | 総 59 肥満傾向にある児童の割合 : 8.2% | | |
| 成果・課題 | <p>「元気体操 21」については、中学校の体育主任を対象に講習会を行うとともに、全生徒へのパンフレット配布を通して、市の体操を身近なものとして、保健体育の時間や学校教育活動全般において、生徒が体力づくりに取り組むように啓発を行いました。各校では、体育活動の他、朝活動や業間の時間を活用して身体を動かす機会を増やす等、児童生徒の発達段階や地域の実情に合わせて体力づくりに取り組みました。次年度以降も、学校教育活動全般において「健康体操 21」やマラソン、縄跳び運動等、子どもたちが自ら楽しんで体力づくりと健康づくりに取り組むことができるよう、業間等を利用した手軽にできる運動を推進していきます。</p> <p>また、食事や間食のとり方等、規則正しい生活習慣についても保健だよりや給食だより等を通じて、児童生徒、家庭への周知を行っていきます。</p> <p>視力低下防止については、春の定期健康診断に加え、秋に視力検査の追加検診を実施するとともに、市が作成した「目の健康カード」を全小中学生に配付し、長期休業等を活用して児童生徒及び保護者に視力低下防止のための日常生活の見直しへの取組を促しました。今後も本市の児童生徒における視力低下防止の啓発や外遊びの推奨を行うとともに、パソコン等を使用する際の「目の健康を守る 3 か条」の周知を行い、ICT機器による視力低下防止の重要性についても啓発していきます。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|---|--|---|------------|---|
| 9 | 通学環境の整備及び安全対策の充実 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>通学路の安全を図るため、福井市通学路安全推進会議において、交通安全・防犯・防災の3つの観点から通学路の合同点検や危険箇所の改善を実施し、児童生徒が安全・安心に登下校できるよう通学環境を整えます。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○通学路安全推進会議の開催：7月6日（安全会議・防災会議・防犯会議） 7月27日 計4回開催 （内容）学校から報告された通学路の危険箇所（交通安全141か所、防犯22か所、防災8か所）について安全対策の検討と改善</p> <p>○通学路安全合同点検の実施：8月22日、24日 10月5日 点検数 15箇所</p> <p>○通学路の危険ブロック塀のフォローアップ調査：127箇所／危険箇所 127箇所中</p> | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| 通学路安全推進会議の開催及び 交通安全・防犯・防災の合同点検の実施 ： 会議3回、合同点検1回 | | | 通学路安全推進会議の開催及び 交通安全・防犯・防災の各合同点検の実施 ： 会議4回、合同点検1回 | | |
| 成果・課題 | <p>通学路関係では、学校において毎年4月に実施している通学路の危険箇所の点検を実施しました。報告された危険箇所については、道路管理者、警察などの関係機関と合同点検を行い、道路標示の設置や取締り強化などの安全対策を実施しました。</p> <p>また、令和5年9月に鯖江市で発生したブロック塀崩落事案を受け、各小・中学校に安全指導の徹底について対応を依頼しました。</p> <p>ハード面での対策が困難な箇所については、児童生徒の安全確保のため、可能な対策（通学路の変更等）を検討し、学校や各関係機関と連携した対応を継続的に行っていきます。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|---|-----|---|
| 11 | 楽しくおいしい学校給食の実施 |  |  | 達成度 |  |
| 実 行 内 容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>栄養教諭・学校栄養職員との連携を図り、食育の指導及び地場産食材を使用した「ふくい」の食を取り入れることで、子どもたちが「ふくい」の食への愛着を深めるとともに、楽しくて心豊かになる安全・安心でおいしい給食を提供します。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○福いいネ！給食・ふるさと給食の実施（年間11回・4、5、6、7、9、10、11、12、1、2、3月実施）</p> <p>【献立例】福いいネ！給食 揚げごはん（市内産いちほまれを使用） 厚焼き玉子 白菜の煮びたし のっぺい汁（県内産の野菜を使用） きな粉クリーム大福（県学校給食会が考案 県内産のきな粉を使用）</p> <p>○友好都市杭州アジア競技大会 PR 給食、北陸新幹線ウェルカム給食及びホストタウン交流給食の実施（年間3回7、9、2月実施）</p> <p>【献立例】北陸新幹線ウェルカム給食 キムタクご飯（長野県の郷土料理） 焼き鯖（福井県の郷土料理） 小松菜の煮びたし（小松菜の発祥は東京都） ごの味噌汁（市内産の大豆粉を使用） いちごクリーム大福（県学校給食会が考案 県内産のいちごジャムを使用） ※校内放送にて対象地域の文化や特産物等を紹介</p> <p>○栄養教諭による食育媒体を使用した食育指導の実施</p> | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果 ・ 成 果 | | |
| 福いいネ！給食・ふるさと給食等の実施：年間11回 友好都市杭州アジア競技大会 PR 給食、北陸新幹線ウェルカム給食及びホストタウン交流給食：年間3回 | | | 福いいネ！給食・ふるさと給食等の実施：年間11回 友好都市杭州アジア競技大会 PR 給食、北陸新幹線ウェルカム給食及びホストタウン交流給食：年間3回 | | |
| 成果・課題 | <p>福いいね！給食、ふるさと給食等の実施については、地場産の活用や郷土料理等を積極的に取り入れ、目標を達成することができました。</p> <p>また、栄養教諭等による食育指導及び給食だより、食に関するクイズ形式の資料等の媒体を通して、子どもたちに食への興味・関心を高められるよう啓発を行いました。</p> <p>友好都市杭州アジア競技大会 PR 給食、北陸新幹線ウェルカム給食及びホストタウン交流給食の実施については、対象地域の郷土料理や食材等を取り入れ、目標を達成することができました。</p> <p>さらに対象地域の文化や歴史的なつながり、特産品（野菜等）を紹介し、子どもたちに地域に対する理解を深めてもらうことができました。</p> <p>特に福井県学校給食会とも連携し、上記の給食の際には、地場産食材への愛着を深めてもらうために、同会が考案したデザートを提供したところ、児童生徒には大変好評でした。</p> <p>今後も栄養教諭等と連携し、給食を通して様々な地域の紹介や交流を実施し、子どもたちに「ふくい」の良さを伝え、ふるさにと愛着を持ってもらうような給食を提供していきます。</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|---|--|---|------------|---|
| 12 | 学校給食施設の充実 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>子どもたちに安全・安心でおいしい学校給食を将来に渡って安定的に提供していくため、新たな学校給食センターをPFI方式により整備し、令和6年度より運営を開始します。新学校給食センターでは、ドライシステムの導入や衛生区分の明確化により、徹底した衛生管理を行います。また、食物アレルギー専用調理室を設置し、食物アレルギーに対応した給食を提供します。</p> <p>単独調理校の整備については、食中毒防止や労働環境の改善を図るため、給食室に空調設備を設置します。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○新学校給食センター建設工事 鉄骨2階建て、敷地面積12,743.86㎡、延床面積9,412.06㎡ 調理食数 13,000食（うちアレルギー対応食150食） 建設工事完了 1月末 開業準備 2月～3月</p> <p>○和田小・円山小・豊小・社北小給食室空調整備工事 工事完了 10月</p> | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| <p>新学校給食センターの工事完了および開設準備： 3月完了</p> <p>単独調理校の空調整備：和田小・円山小・豊小・社北小給食室：8月完了</p> | | | <p>新学校給食センターの工事完了および開設準備： 3月完了</p> <p>単独調理校の空調整備：和田小・円山小・豊小・社北小給食室：10月完了</p> | | |
| 成果・課題 | <p>新学校給食センターの建設工事および開業準備は、当初の予定通り、1月末に建設工事が完了し、2～3月にかけて開業準備を行いました。</p> | | | | |
| | <p>今後もPFI事業者と連携を綿密にし、新学校給食センターの運営業務を着実に進めていきます。単独調理校の空調整備については、今後も着実に整備を進めていきます。</p> | | | | |

Ⅲ. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます

| | | | | | |
|----------------------|---|--|---|-----|---|
| 13 | 放課後児童クラブの整備 |  |  | 達成度 |  |
| 実 行 内 容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>共働き家庭や核家族が増加している中、留守家庭児童を健全に育成するため、放課後の安全な子どもの居場所を整えます。</p> <p>また、放課後児童クラブの利用希望者が増加していることから、第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき、小学校の余裕教室や市有施設等を活用した放課後児童クラブの整備と既存施設の老朽化対策を進め、適切な放課後の居場所となるよう努めます。</p> <p>さらに、放課後児童クラブの持続的な運営と質の高い児童への支援を確保するため、職員の資質向上や課題解消に向けた対策に取り組みます。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○児童クラブ 82 カ所、登録児童数 3,538 人、職員数 692 人（令和 5 年 4 月現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館内 29 カ所 小学校内、市有施設等 53 カ所 <p>○令和 6 年度入会に向け、木田地区及び社南地区で児童クラブを新設、中藤島地区及び和田地区で施設の改修工事を行い、定員を拡大</p> <p>【新設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木田地区 名称：放課後児童クラブわくわく木田ほのか 運営：(福) 慶秀会 定員：40 名 ・社南地区 名称：社南児童クラブみなみっこ 運営：(福) 育幼福祉会 定員：36 名 <p>【定員の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中藤島地区 定員 20 名増 和田地区 定員 12 名増 <p>○旧治水記念館に旧至民中学校内の児童クラブを移転するための改修工事を実施</p> <p>○旧明新公民館（わかば第 1・2 児童クラブ）を長寿命化するための屋上防水工事を実施</p> <p>○高学年の受入を推進するため、低学年の早期お迎えによる割引を行い、空いた人数枠を利用して高学年を受け入れる事業を森田地区で試行</p> <p>○児童クラブ職員の処遇改善として、国の交付金を活用して月額 9,000 円相当の賃金改善を実施</p> <p>○学童保育巡回アドバイザーを各児童クラブに派遣し、職員の負担軽減に向けた支援を実施</p> <p>○児童クラブ職員の資質向上を図るため、基礎研修会、リーダー研修会を実施</p> | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| 放課後留守家庭児童の受入率 : 100% | | | 放課後留守家庭児童の受入率 : 100% | | |
| 成果・課題 | <p>児童クラブの利用希望者は年々増加しており、令和 6 年度受入れに向け、木田地区及び社南地区で児童クラブを新設、中藤島地区及び和田地区で施設の改修工事を行い、定員を拡大しました。</p> <p>また施設の老朽化対策として、旧治水記念館に旧至民中学校内の児童クラブを移転するため改修工事を行い、令和 6 年 3 月初旬から開所しました。今後も利用ニーズの把握に努めながら、放課後の安全な子どもの居場所となるよう受入体制を整えていきます。</p> <p>また、高学年の受入を推進するため、低学年の早期お迎えによる割引を行い、空いた人数枠を利用して高学年を受け入れる事業を森田地区で初めて試行しました。この取組により、森田地区で高学年 17 名の受入先を確保することができました。今後は受入に伴う課題を検証し、他地区への事業拡大を図っていきます。</p> <p>これらに加え、児童クラブの安定運営に向けた児童クラブ職員の処遇改善として、国の交付金を活用して月額 9,000 円相当の賃金改善を実施したほか、発達障がいや有する児童への対応などの専門知識を持つ学童保育巡回アドバイザーを各児童クラブに派遣し、職員の負担軽減を図りました。</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|--|--|---|-----|---|
| 14 | 家庭や地域の教育力の向上 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>青少年の健全育成に向け地域の教育力を高めるため、地域教育力活性化事業（※1）や、PTA研究大会など、PTAと連携した取組を行います。</p> <p>また、全ての公民館において、親子の成長や学びを支えるための「家庭教育事業（※2）」を実施し、家庭における教育力の向上を図ります。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○地域教育力活性化事業</p> <p>市内小中学校の単位PTAを5つのブロックに分け、各ブロックで事業を実施 各ブロックとも、児童、保護者、地域住民を対象に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(Aブロック) そば打ち体験 (11月) ・(Bブロック) 講演会：「スマホ時代」を生きる子どもたちとの向き合い方 (7月) スポーツ交流会 (11月) ・(Cブロック) 親子参加型サイエンスショー (9月) ・(Dブロック) スポーツ交流会 (9月) ・(Eブロック) 座禅・写経体験 (9月)、スポーツ交流会 (11月) <p>※1 地域教育力活性化事業</p> <p>地域社会における教育力の活性化を図るため、PTAが中核となって行う家庭、学校及び地域の結びつきを深める事業</p> <p>小中学校71校（福大付属、福井工大付属含む）の各単位PTAを5つのブロック（エリア）に分け、それぞれのブロック単位で当該事業を実施</p> <p>○中央公民館及び地区公民館（一光公民館を除く）の49公民館で「家庭教育事業」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館：いきいき子育てサロン ・地区公民館：子育て講演会・相談会、親子ふれあい講座 など <p>※2 家庭教育事業</p> <p>家庭や地域の教育力向上を図るため公民館が企画する講座や教室</p> | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| 地域教育力活性化事業の実施：全5ブロック 家庭教育事業の実施：全公民館（一光公民館を除く） | | | 地域教育力活性化事業の実施：全5ブロック 家庭教育事業の実施：全公民館（一光公民館を除く） | | |
| 成果・課題 | <p>地域教育力活性化事業については、体験活動や講演会など、目標どおり全5ブロックで実施しました。今後もPTAと連携し、地域における教育力の向上を図ります。</p> <p>公民館の家庭教育事業については、親子で学べる場作りや親世代向けの子育て講座など、全ての公民館で実施することができました。</p> <p>来年度も地域全体で親子の成長や学びを支える学習機会の提供に努めます。</p> | | | | |

| | | | | |
|----|---|--|-----|---|
| 15 | 情報モラル教育の推進 DX |   | 達成度 |  |
|----|---|--|-----|---|

実 行 内 容

行動目標

情報社会において他者への影響を考え、自分の行動に責任をもつ考え方や態度を養う情報モラル教育を推進し、生活習慣の乱れや犯罪被害の防止に努めます。
また、ネットパトロールによる SNS 上の不適切な書込みの早期発見に取り組みます。

取組内容

- 情報モラル講習会の開催（125回）
 - ・講師派遣：小学校 38 校(90 回) 中学校 17 校(23 回) 高校 1 校(2 回) 合計 56 校（115 回）
 [うち保護者参加：20 校(25 回)、教職員対象：1 校(1 回)]
 - 放課後児童クラブ：4 回、福井市 PTA 連合会：2 回（B、C ブロック）
 - チャレンジ教室：1 回、中央公民館：1 回、ロータリークラブ：1 回
 - 青少年育成市民会議 光ブロック：1 回
 - ・自校開催：全小中学校（小学校 52 校、中学校 28 校）
- ネットパトロールの実施
 - ・学校名などのキーワードをもとに、SNS 上の不適切な投稿を検索
 [検知した不適切な投稿数：1,322 件]

| 危険度 | 内 容 | 件数(件) |
|-----|-------------------------------|-------|
| 低 | ・自分自身の個人情報の公開(氏名、学校名、顔写真など) | 1,252 |
| 中 | ・自分自身の詳細な個人情報の公開、他人の個人情報の公開 | 69 |
| | ・個人を特定した誹謗中傷 | 1 |
| | ・自傷行為等 | 0 |
| | ・暴力、問題行動(飲酒、喫煙等)、わいせつ表現(写真など) | 0 |
| 高 | ・犯罪、自殺などの生命に関わるもの等 | 0 |
| 合 計 | | 1,322 |

指 標

| 計 画 | 結 果・成 果 |
|---|--|
| 情報モラル講習会の開催： 全小中学校（小学校 52 校、中学校 28 校）で開催 ⑥0 「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる児童の割合：小学生 87.9% (R4) → 90.0% (R5) ⑥1 「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる生徒の割合：中学生 85.3% (R4) → 89.0% (R5) | 情報モラル講習会の開催 全小中学校（小学校 52 校、中学校 28 校）で開催 ⑥0 「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる児童の割合：小学生 85.0% ⑥1 「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる生徒の割合：中学生 83.7% |

成果・課題

情報モラル講習会については、市職員による講習会を 125 回（R4 年度：111 回）開催し、自校開催を含めると、全小中学校で実施することができました。特に今年度は、各学校や市 PTA 連合会のブロック研修会において、保護者を対象とした講習会を例年より多く開催したことで、家庭でインターネットや SNS について話し合うきっかけづくりにつながったと認識しています。

一方で、「学校に行くのは楽しい」と感じる児童生徒の割合は、小中学校共に前年度より減少しました。小学校では、全国の数値(85.3%)をわずかに下回り、中学校では全国の数値(81.8%)を上回ったものの、行動目標を達成することができませんでした。

学校でも ICT 機器の積極的な活用が推進される中、これからの情報モラル教育においては、ネットを起因としたトラブルに対する注意喚起やフィルタリング設定の呼びかけ等と並行して、ICT 機器の有効な活用方法や楽しさを伝え、児童生徒の学校生活の充実に繋げていくことが課題です。

ネットパトロールについては、会員制交流サイト(SNS)上の不適切な投稿を 1,322 件検知しました。その内、自宅や個人が特定される恐れがあるものや誹謗中傷を行っている投稿などが 70 件あり、これらについては当該生徒が在籍する学校へ情報提供しました。引き続き、学校と連携しながら児童生徒の非行・被害防止に努めます。

| | | | | | |
|---|---|---|--|------------|---|
| 16 | 青少年の健全育成の推進 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>「家族のふれあい」をテーマとした絵手紙コンクールを開催し、優秀作品展を通して明るい家庭づくりを推進します。</p> <p>また、青少年育成福井市民会議が行う小学生の見守りや、中学生の安全確保にかかる活動を周知し、地域における健全育成を進めます。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○「家族ふれあい」絵手紙コンクールの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間：7月1日～9月5日 ・応募数：5,866点 ・表彰式：10月29日（アオッサ）入賞作品80点を選出 ・優秀作品展示：10月12日～24日（県ふるさと文学館） 10月27日～29日（アオッサ）（支部活動パネル展と同時展示） 11月1日～5日（717ラザ新保店） 11月7日～12日（ベル） 11月14日～19日（MEGAドン・ホーテUNY福井店） ○支部活動パネル展の開催 （「家族ふれあい」絵手紙コンクール優秀作品と同時展示） 期間：10月27日～10月29日 場所：アオッサ1階 アトリウム ○ホームページ「市民会議のひろば」を活用した情報発信（20回） 各支部の活動やパネル展の紹介等 ○「市民会議だより」の自治会配布（3月） | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| <p>「家族ふれあい」絵手紙コンクールの優秀作品 展示：5回（4年度）→5回（5年度） 児童に対する見守り活動者数の割合： 14.8%（4年度）→15.0%以上（5年度）</p> | | | <p>「家族ふれあい」絵手紙コンクールの 優秀作品展示：5回 児童に対する見守り活動者数の割合：15.3% （1,956人 / 12,757人）</p> | | |
| 成果・課題 | <p>「家族ふれあい」絵手紙コンクールを開催し、優秀作品の展示（市内5か所）を通して、コミュニケーションの大切さを呼びかけました。また、地域において青少年の健全育成に取り組んでいる「青少年育成福井市民会議」や「福井市補導員連絡協議会」が主催するパネル展と協働開催するなど、より多くの人に親しんでもらえるよう工夫しました。次年度も、関係団体と連携しながら、明るい家庭づくりを推進します。</p> <p>青少年育成福井市民会議の各支部が取り組む活動（見守り活動、危険箇所点検、大人と子どもの交流会等）について、パネル展の開催やホームページ掲載、市民会議だより配布により広く周知を図りました。次年度も、市民会議支部活動の認知度向上に取り組むとともに、地域及び関係団体と連携し、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう活動を推進していきます。</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|--|---------------|---|------------|---|
| 18 | 学校施設の安全対策（老朽化対策） | ゼロカーボン |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>学習環境の安全性を維持するため、経年劣化等による外壁の落下を未然に防止するとともに、総合的な建物の予防保全対策として、外壁の塗装工事や屋上防水工事を行います。</p> <p>また、学校施設の計画的な維持・更新等や照明のLED化を含めた環境に配慮した改修等を推進するため、酒生小学校体育館の長寿命化に向けた大規模改修工事を行うほか、木田小学校の改修に向けた取り組みを進めます。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○校舎等予防保全（外壁落下防止・外壁塗装、屋上防水工事）事業 ・4校 … 6～7月着工、2～3月完了 （安居小学校、清明小学校、社西小学校、大東中学校）</p> <p>○酒生小学校体育館大規模改修工事 令和5年5月着工、令和6年2月完了</p> <p>○木田小学校大規模改修事業 ・実施設計 令和5年5月着手、令和5年12月完了</p> | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| 学校施設の予防保全対策実施校 : 4校 酒生小学校体育館大規模改修工事の完了 木田小学校大規模改修に伴う実施設計の完了: 12月 | | | 学校施設の予防保全対策実施校 : 4校 酒生小学校体育館大規模改修工事の完了 木田小学校大規模改修に伴う実施設計の完了: 12月 | | |
| 成果・課題 | <p>学校施設の予防保全対策については、小学校3校、中学校1校の改修工事を実施しました。来年度以降も、学習環境の安全性を維持するため、経年劣化等が進展する学校施設の計画的な維持・更新等に取り組んでいきます。</p> <p>酒生小学校体育館大規模改修工事については、工事期間中、小学校の体育授業に関して代替施設を利用して実施するなど、学校生活への影響を最小限に留め、当初の計画どおり工事を完了することができました。</p> <p>木田小学校大規模改修事業については、その整備内容を検討のうえ実施設計を終えたほか、改修の際に利用する仮設校舎の整備方針を決定しました。令和6年度は、仮設校舎を速やかに設置し、木田小学校の大規模改修を早期に着手します。</p> | | | | |

V. 市民一人ひとりの自主的な学習の活動を支援し、市民憲章運動を進めます

| | | | | | |
|---|--|--|--|------------|---|
| 19 | 公民館事業の推進 DX |  |  | 達成度 |  |
| 実 行 内 容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>公民館では地域の特色を活かした、多様な学習ニーズや地域課題の解決を重視した各種教育事業や自主グループ支援を実施するとともに、地域のコーディネーターとして、人と人、人と地域を結ぶ活動の支援に努めます。</p> <p>地域住民をつなぐとともに、新たな日常に対応するため、各種事業でオンライン会議や動画配信などインターネットの活用を推進します。</p> <p>また、市民が郷土福井に誇りと愛着を持つために、中央公民館や地区公民館で「福井学事業」に取り組み、次世代に継承します。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○公民館の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育事業 2,846 回 ・公民館事業（共催含む）3,210 回 ・貸館事業（自主グループ含む）38,429 回 <p>○インターネットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した教育事業（オンライン講座等） 6 館（11 回） ・公民館事業の YouTube 動画配信 15 館（42 回） <p>○福井学講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館 23 回 ・地区公民館 293 回 | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| <p>⑥3 公民館利用者数：523,078 人（4 年度） → 842,000 人（5 年度）</p> <p>インターネットを活用した事業件数 ：40 回（4 年度）→ 43 回（5 年度）</p> <p>中央公民館「福井学」講座参加者数 ：743 人（4 年度）→ 760 人（5 年度）</p> | | | <p>⑥3 公民館利用者数：675,774 人</p> <p>インターネットを活用した事業件数：53 回</p> <p>中央公民館「福井学」講座参加者数：762 人</p> | | |
| 成果・課題 | <p>公民館の利用については、年度当初から新型コロナウイルス感染防止のための使用制限を行わなかったため、利用者は前年度に比べ増加しました。しかし、コロナ禍以前の利用状況には戻っておらず、目標を達成することはできませんでした。来年度は、地区との共催事業などを積極的に行い、利用者の増加を図ります。</p> <p>インターネットの活用については、スマホ講座やオンライン講座、動画配信などを行い、当日公民館に来ることができない人にも、講座等に参加する機会を提供することができました。今後も教育事業などに ICT を活用し、公民館における DX を推進します。</p> <p>福井学事業については、中央公民館や地区公民館において福井の歴史、生活文化、まちづくり等、幅広いテーマで講座を実施しました。今後も、福井学を通して地域を見つめなおす機会を創出するとともに、ふるさとに愛着を持つ若い世代が増えていくような企画にも取り組んでいきます。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|---|-----|---|
| 20 | 公民館施設の整備 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>公民館は、地域における生涯学習と地域コミュニティ活動の拠点としての役割に加え、災害時の活動拠点としての機能を担っていることから、その機能が発揮できるよう施設の整備を計画的に進めます。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○東郷公民館耐震補強・長寿命化改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年6月21日 公民館から仮施設(旧 JA 東郷支店)へ機能仮移転 ・令和5年7月4日 工事着工 ・令和5年7月20日 東郷公民館改修委員会 (工事内容やスケジュールについて説明) ・令和6年2月16日 工事完了 ・令和6年3月8日 仮施設から改修後公民館へ機能移転 <p>○殿下公民館・殿下小中学校複合化改修実施設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年5月26日 殿下公民館建設委員会 (基本プラン内容提示) ・令和5年9月4日 設計発注 ・令和6年3月1日 設計完了 <p>○一光公民館耐震再診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月13日 業務着手 ・令和6年2月16日 業務完了 | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| <p>公民館整備 : 1館 東郷公民館 (耐震補強・長寿命化改修)</p> <p>公民館整備設計 : 1館 殿下公民館 (複合化改修)</p> <p>公民館の耐震化率 : 94.5% (4年度) → 96.4% (5年度)</p> | | | <p>公民館整備 : 1館 東郷公民館 (耐震補強・長寿命化改修)</p> <p>公民館整備設計 : 1館 殿下公民館 (複合化改修)</p> <p>公民館の耐震化率 : 98.2% ※一光公民館が耐震ありと判定されたため</p> | | |
| 成果・課題 | <p>東郷公民館耐震補強・長寿命化改修工事については、概ね当初の予定どおり工事を進めることができ、年度内に完了することができました。</p> <p>殿下公民館・殿下小中学校複合化改修実施設計については、地元や関係部署と協議を行いながら進め完了しました。今後は、改修内容や工程等について地元説明を行い、関係部署と連携しながら工事を進め、令和6年度中の完成を目指します。</p> <p>公民館の耐震化率については、令和6年度に予定している一光公民館の実施設設計に先行して、新基準での耐震再診断を実施したところ、「耐震あり」と判定されたため、目標を上回る結果となりました。また、殿下公民館・殿下小中学校複合化改修工事の完了により、100%となる予定です。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|-----|---|
| 21 | 市民憲章運動の推進 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>市民憲章の更なる浸透を図るため、市民憲章唱和や福井市を美しくする運動（市民一斉清掃）を実施し、普及啓発を推進します。</p> <p>また、市民憲章制定 60 周年（令和 6 年度）に向けて、実践目標の見直しを行います。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○市民憲章の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部活動の実施 49 支部 <ul style="list-style-type: none"> 不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会の 49 の支部（市内全地区）において、市民憲章の普及啓発活動や、憲章の項目に沿った 5 つの部門で、美化活動や健康づくり運動などの実践活動を実施 <5 つの部門> <ul style="list-style-type: none"> 親切奉仕、健康増進、郷土美化、安全安心、文化教養 ・優良実践者表彰（6 月） ・市民憲章実践目標原案募集（7 月～9 月） 応募：553 人 2,084 点 ・花壇コンクール表彰及びパネル展示を実施（11 月） ・「福井市を美しくする運動」（夏 7 月、秋・冬 11 月、春 3 月）を実施 ・ホームページ、SNS 等で情報発信 | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| 市民憲章運動の普及啓発 支部活動の実施 : 全支部（49 支部） 実践目標の見直し | | | 市民憲章運動の普及啓発 支部活動の実施 : 全支部（49 支部） 実践目標の見直し（R6.4.1 改定） | | |
| 成果・課題 | <p>市民憲章運動の普及啓発については、事業内容や活動方法を工夫しながら、各支部において、地域の特性に応じた幅広いテーマで活動を実施しました。</p> <p>実践目標の見直しについては、2,000 点を超える応募作品から数回の審査による選定を行い、新たな目標を決定しました。</p> <p>福井市を美しくする運動については、夏（7 月）秋・冬（11 月）、春（3 月）の 3 回を予定どおり実施することができました。</p> <p>花いっぱい運動として、花壇コンクール表彰とパネル展示展を 11 月に予定どおり実施し、福井のまちを彩る市民活動を推進しました。</p> <p>令和 6 年度は市民憲章制定 60 周年にあたるため、記念事業や式典を行い、更なる市民憲章の普及啓発に取り組みます。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|--|--|-----|---|
| 22 | 読書活動の推進 |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>子どもたちの読書活動を促進するため、全小学校と連携し、司書訪問による読み聞かせや図書館訪問の受入を行うほか、学校司書等に研修や助言を行います。また、児童館や認定こども園等との交流活動にも取り組みます。</p> <p>さらに、各館の立地や利用者層など、それぞれの特色を生かしたイベントや講座、展示等を開催するとともに、図書館利用者が読書の履歴を記録し、振り返りができる「読書筆記」(※1)を作成、配布し、読書活動の推進を図ります。</p> | | | |
| | 取組内容 | <p>○小学校との連携活動 : 全小学校</p> <p>○児童館や認定こども園との交流 : 214回</p> <p>○各館の特色を生かした事業の実施 : 126回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館 : 10回 Music&Books in ミューズ 福井合奏団による演奏会と関連図書の紹介や貸出 ・みどり図書館・清水図書館 : 53回 わらべうたとえほんを楽しむてんくらぶ 子育てファミリー応援講座(「子育て講座」、「こどものほめ方しかり方～乳幼児編」等) みどり寄席 こども司書くらぶ「お仕事体験&交流会」 他 ・桜木図書館・美山図書館 : 63回 科学実験ラボ 布絵本製作講座 作家講演会「羽田圭介氏講演会」 他 | | |
| 指 標 | | | | |
| 計画 | | 結果・成果 | | |
| <p>小学校との連携活動 : 全小学校</p> <p>児童館や認定こども園等(※2)との交流 : 204回</p> <p>各館の特色を生かした事業の実施 : 110回</p> | | <p>小学校との連携活動 : 全小学校</p> <p>児童館や認定こども園との交流 : 214回</p> <p>各館の特色を生かした事業の実施 : 126回</p> | | |
| 成果・課題 | <p>小学校との連携活動では、司書の学校訪問や図書館訪問としての学校受け入れ、移動図書館車による巡回貸出などを実施し、子どもたちの読書活動の促進を図りました。さらに、学校図書館の利用促進のために、学校司書等の研修や学校図書に関する助言を行うなど、全小学校と連携した活動に取り組みました。</p> <p>また、児童館や認定こども園との交流では、施設訪問での読み聞かせや図書館見学の受け入れを積極的に行い、目標の実施回数を上回りました。</p> <p>各館の特色を生かした事業の実施については、各館の蔵書や立地、利用者層などの特色にあわせたイベント、講座、展示等を開催し、目標を上回ることができました。</p> <p>さらに、「読書筆記」の作成、配布については、利用者から「読書意欲の向上につながっている」との意見があるなど、市民の読書活動の向上を図ることができました。</p> <p>今後も、より多くの市民が図書館を利用し、図書に対する興味・関心が高まるように各種イベントや展示、広報に努めていきます。</p> | | | |

| | | | | |
|---|--|---|-----|---|
| 23 | 図書館サービスの拡充 ゼロカーボン |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>子どもから高齢者まで幅広い世代が図書館を快適に利用できる環境の整備に取り組みます。市立図書館では、従来の「本を読む、借りる」機能に加えて、多くの市民が集い、学習し、交流する施設を目指し、リニューアル事業を着実に進めます。</p> <p>また、市立図書館の休館中は、田原町ミニ図書館を継続するほか、移動図書館サービスの充実を図るなど、利用者サービスの維持に努めます。</p> <p>さらに、利用者アンケートをはじめ、様々な機会を通して利用者のニーズを把握することで、質の高いサービスの提供に努め、利用満足度の向上を図ります。</p> | | | |
| 取組内容 | <p>○市立図書館リニューアル事業：建物完成（12月）</p> <p>○移動図書館を活用した訪問イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カーフリーデーふくい 2023」（開催場所：田原町駅前広場）との連携企画 「出前図書館と電車モビール作り」（9月） ・「市場フェスタ」（開催場所：福井市中央卸売市場）との連携企画 「出前図書館とお魚のモビール作り」 ・「水の駅わくわく体験フェスタ」（開催場所：あさくら水の駅）との連携企画 「出前図書館と紙コップけん玉作り」（11月） <p>その他、幼稚園、小学校、児童クラブ等と協力した行事を開催</p> <p>○利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝日等の特別開館の実施：みどり図書館 5日 ・片山善博氏講演会「私たちのくらしと地域経済」（8月） ・作家講演会「羽田圭介氏講演会」（3月） ・利用者アンケートの実施（10月～11月） ・読書週間関連事業：高校生ビブリアバトル（10月） | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | | |
| 市立図書館リニューアル事業 建物完成 : 12月 移動図書館を活用した訪問イベント数 : 10か所 図書館利用満足度 : 89.4% (4年度) → 89.5% (5年度) | | 市立図書館リニューアル事業 建物完成 : 12月 移動図書館を活用した訪問イベント数 : 13か所 図書館利用満足度 : 92.2% | | |
| 成果・課題 | <p>市立図書館リニューアル事業は、計画どおり12月末に建物を完成することができました。</p> <p>また、市立図書館休館中の利用者サービスを維持するために、田原町ミニ図書館を継続開館するとともに、移動図書館車を活用し、様々なイベントと連携した出前図書館に取り組み、目標の回数を上回ることができました。</p> <p>さらに、10月から11月にかけて利用者アンケートを実施し、サービス内容や利用環境等について調査した結果、図書館利用満足度については、目標を上回りました。なお、今年度から、より多くの利用者のニーズを把握するために、アンケートの回答をスマートフォン等でもできるように改善しました。今後も、より多くの利用者ニーズを把握し、各図書館での取組に活かすことで効果的なサービスの提供に努めていきます。</p> | | | |

VI. スポーツ施設の整備や生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツライフの支援とスポーツを通じた交流拡大に取り組みます

| | | | | |
|--|---|---|------------|---|
| 24 | 体育施設の整備 ゼロカーボン |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>市民が安心安全で気軽にスポーツを楽しむことができるよう、体育施設の維持管理に努めます。スポーツ環境の改善を図るため、既存施設の改修を進めるとともに、競技人口や環境の変化などニーズに応じた体育施設の整備を行っていきます。</p> <p>体育施設のLED化では、北体育館のアリーナ照明設備を更新していきます。また、フットボールセンターは、令和5年12月の工事完成に向け、整備を行っていきます。</p> | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○市体育施設利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ・1,126,797人 ○北体育館アリーナ照明設備LED化の完了 <ul style="list-style-type: none"> ・3月完了 ○フットボールセンターの工事完成 <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事完成 12月 ・落成式 令和5年12月18日 ・供用開始 令和6年3月2日～ | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計画 | | 結果・成果 | | |
| <p>総64 市体育施設利用者数 : 1,003,490人(4年度) → 1,030,000人(5年度)</p> <p>北体育館アリーナ照明設備LED化の完了</p> <p>フットボールセンターの工事完成 : 12月</p> | | <p>総64 市体育施設利用者数 : 1,126,797人</p> <p>北体育館アリーナ照明設備LED化の完了</p> <p>フットボールセンターの工事完成 : 12月</p> | | |
| 成果・課題 | <p>市体育施設利用者数は、ワクチン対応で利用が中止となっていた市体育館サブアリーナも5月以降利用を再開し、徐々に利用者数が増加しております。また、10月からは福井初のプロバスケットチーム、福井ブルーウィンズがB3リーグで活動を開始し、福井市体育館では、3節6試合ホームゲームが開催され、一層スポーツが注目を集めております。(観客数延べ6,872人)</p> <p>体育施設の整備では、スポーツ環境の改善や電気料のコスト削減を図るため、北体育館アリーナ照明設備のLED化を行いました。</p> <p>また、フットボールセンターは、令和5年12月に工事が完了し、令和6年3月より、供用を開始しました。サッカー利用者を始めとする多数の市民に利用していただけるよう運営していきます。</p> | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|-----------|-----------------|-----------|-------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------|------------------|------------|--------|
| 25 | スポーツを楽しむ環境づくり |  |  | | | | | | | | | | | | |
| 実 行 内 容 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行動目標 | <p>各種スポーツ教室の実施やファミリーミニマラソン大会の開催など、運動やスポーツを楽しむ機会の充実と生涯スポーツを推進します。</p> <p>「ふくい桜マラソン 2024」については、安全・安心な大会となるよう万全な準備を進めるとともに、スポーツツーリズムの取組として、観光誘客や交流人口の増加につながるよう、「北陸新幹線福井開業イベント」や「ふくい桜まつり」などと連携し相乗効果を図ります。</p> <p>また、今年度末で期間が終了する「福井市スポーツ推進計画」の第2期計画を策定します。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | <p>○スポーツ教室の開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・さわやか健康体操</td> <td>(春 10 回・秋 10 回)</td> <td style="text-align: right;">: 1,971 人</td> </tr> <tr> <td>・元気力アップ健康体操</td> <td>(春 10 回・秋 10 回)</td> <td style="text-align: right;">: 1,969 人</td> </tr> <tr> <td>・動画配信 視聴者数</td> <td>(健康体操)</td> <td style="text-align: right;">: 794 人</td> </tr> <tr> <td>・ノルディック・ウォーク体験教室</td> <td>(10 月 4 回)</td> <td style="text-align: right;">: 30 人</td> </tr> </table> <p>○ふくい桜マラソン 2024 に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外で PR 活動の実施や大会 PR サポーター隊による情報発信 ・年間を通じ、リアル・オンラインによるラン&ウォークイベントを開催 <p>○種目別スポーツ事業の実施 46 団体 82 事業 (通年) : 37 団体 61 事業 (R6.1 現在)</p> <p>○ファミリーミニマラソン大会の開催 (11 月) : 389 組 901 人</p> <p>○市民スポーツ大会の開催 (5 月～7 月) : 5,710 人</p> <p>○区民スポーツ大会の開催 (春・秋) : 35 地区開催</p> <p>○第2期福井市スポーツ推進計画策定に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会の開催 3 回、パブリックコメントの実施 (意見数 6 件) | | | ・さわやか健康体操 | (春 10 回・秋 10 回) | : 1,971 人 | ・元気力アップ健康体操 | (春 10 回・秋 10 回) | : 1,969 人 | ・動画配信 視聴者数 | (健康体操) | : 794 人 | ・ノルディック・ウォーク体験教室 | (10 月 4 回) | : 30 人 |
| ・さわやか健康体操 | (春 10 回・秋 10 回) | : 1,971 人 | | | | | | | | | | | | | |
| ・元気力アップ健康体操 | (春 10 回・秋 10 回) | : 1,969 人 | | | | | | | | | | | | | |
| ・動画配信 視聴者数 | (健康体操) | : 794 人 | | | | | | | | | | | | | |
| ・ノルディック・ウォーク体験教室 | (10 月 4 回) | : 30 人 | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>スポーツ教室の参加延べ人数 : 4,579 人 (4 年度) → 4,800 人 (5 年度)</p> <p>「ふくい桜マラソン 2024」 フルマラソンエントリー数 : 13,000 人</p> <p>第2期福井市スポーツ推進計画の策定</p> | | <p>スポーツ教室の参加延べ人数 : 4,813 人</p> <p>「ふくい桜マラソン 2024」 フルマラソンエントリー数 : 13,246 人</p> <p>第2期福井市スポーツ推進計画の策定</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 成果・課題 | <p>スポーツ教室は、若い世代が興味を持って参加していただけるよう、一部コンテンツを変更して開催しました。また、昨年同様、ノルディックウォーキング教室や自宅等でもできる健康体操教室の動画を配信し、目標を達成することが出来ました。</p> <p>ふくい桜マラソンは、実行委員会を中心に開催機運の醸成や各種準備を着実に進め、県内外から 15,341 人 (フルマラソンは 13,246 人) のエントリーがあり、第1回「ふくい桜マラソン 2024」を 3 月 31 日に開催したところ、大きなトラブルもなく成功裏に終えることができました。</p> <p>第2回は、第1回の総括を踏まえて、参加者一人ひとりの満足度をより一層向上させるとともに、広報・PR 活動に力を入れて安定的なエントリー人数の確保に努めるなど、引き続き安全・安心な大会を開催いたします。</p> <p>第2期福井市スポーツ推進計画につきましては、審議会での協議やパブリックコメントの結果を踏まえ、「スポーツの力で創る！元気で明るく楽しい！まちふくい」～まちも人もにぎわいと活力にみちた 夢と希望があふれるまちづくり～を基本理念に、年度内に計画通り策定しました。</p> | | | | | | | | | | | | | | |

Ⅶ. 歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用します

| | | | | | |
|---------------------|--|--|---|-----|---|
| 26 | 文化財の保存・継承 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>文化財が将来に受け継がれるよう、所有者や保存団体が行う、文化財の保存修理事業や後継者育成に伴う取組等を支援します。</p> <p>また、計画的に文化財の保存修理を進めるとともに、災害時における状況にも対応できるよう、文化財を調査・記録し、保存・継承します。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○文化財の指定 市指定無形民俗文化財「舟橋の左義長」(告示2月2日)</p> <p>○文化財保護補助事業(計6件) 大安寺建造物修理事業に支援(平成30年度～令和13年度、継続中) ・(国指定)重要文化財大安寺本堂ほか7棟のうち、本堂の組立工事、庫裏の解体準備を行う樹勢維持、倒木防止工事に補助 ・(県指定)真杉家のタラヨウ 無形民俗文化財の後継者育成に取り組む保存団体に補助 ・(県指定)したんじょう行事 5月5日 ・(県指定)花山行事 5月5日 ・(県指定)馬鹿ばやし 5月24日 ・(県指定)オシッサマのお渡り 10月8・9日</p> <p>○市指定文化財保存状態調査(20件) 福井市の文化財を保護するために、適切に保たれているかの保存状態を調査 ・建造物17件、天然記念物3件</p> <p>○地域の文化財調査 市民が保存・継承していきたい文化財を調査 ・市民アンケートの実施 10月1日～11月30日募集 ・ワークショップの開催 11月11日・25日開催</p> | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| 市指定文化財の保存状態調査 : 20件 | | | 市指定文化財の保存状態調査 : 20件 | | |
| 成果・課題 | <p>文化財保護補助事業では、貴重な文化財の保存と継承のため、文化財の所有者や保存団体が行う建造物や天然記念物の修理および無形民俗文化財の後継者育成等の取組に対して補助するなどの支援を行いました。</p> <p>市指定文化財の保存状態調査では、20件の調査を行い目標を達成することができました。</p> <p>今後は、文化財の所有者や保存団体及び市民と連携して福井の誇りである指定文化財や未指定文化財の適切な保存と継承に努めていきます。</p> | | | | |

| | | | | | |
|----------------|---|---|---|-----|---|
| 27 | 地域と連携した文化財の活用 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>地域と連携して、文化財の活用や展示会等を行うことで、住民が郷土の歴史文化や伝統を体感し、理解を深める機会を創出します。</p> <p>また、住民自らが取り組む学習会等において、文化財の活用を促進するため、収蔵資料の再整理を行います。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○城山保存整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山踏査 麻生津・清明・南江守地区 参加者 11名 (5/12) ・活動報告 麻生津・清明・南江守地区 参加者 18名 (5/23) ・展望台設置 古道復原プロジェクト会※市民団体 ・新規登山道開設 古道復原プロジェクト会※市民団体 ・解説板設置 福井市 <p>○地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災イベント（火おこし体験） 森田地区 参加者 43名 (9/3) ・文化財講座（高柳遺跡について） 中藤島地区 参加者 50名 (9/24) ・越美北線利用促進イベント（古墳の紹介） 東郷地区 参加者 8名 (10/7) ・文化財講座（地区の文化財について） 東藤島地区 参加者 16名 (1/18) <p>○収蔵資料の再整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜ブロック 6遺跡 ・あずまブロック 5遺跡 ・みなみブロック 3遺跡 | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| 城山(南居城山)の保存・整備 | | | 城山(南居城山)の保存・整備 | | |
| 成果・課題 | <p>城山(南居城山)の保存・整備では、地元市民団体による整備が活発に進められるようになり、昨年度の地元住民と協働して行った発掘調査の成果を基に、解説板の設置を行いました。今後も地元市民団体と協働して遺跡の保存・整備に取り組んでいきます。</p> <p>また、地域連携の取組みとして、各地区で埋蔵文化財の講座の実施やイベントに参加し、遺跡をより身近に感じていただける活動を行うことで、遺跡への理解を深めていただく機会としました。</p> <p>城山(南居城山)での連携事業をモデルケースとして、文化財が地域の活性化に繋がるように、他の地域とも連携し文化財の活用に取り組んでいきます。</p> | | | | |